

## 環境問題シリーズ 第24章

## 地球環境改善チェックシート 2022 自己採点集計結果

## 地球環境に学ぶサークル

- 当サークルでは地球環境の危機的状況に鑑み「環境行動宣言 2021」を作成し、身近に実行できそうな 20 項目について、ところざわ倶楽部の方々に自己採点して頂きました。今年 8 月も 80 名の方に自己採点頂いた結果、平均は昨年の 60.4 点から 62.2 点と若干改善しましたが、まだまだ不十分です。例えば、再エネ新電力への切替え、包装プラのスーパー返却、衣類リサイクル等は、費用がかからずその気になれば即実行できます。
- 今回の最高点は 92 点、2 位 89 点、3 位 88 点でした。この位の点数を目標にしないと 2030 年 CO<sub>2</sub>半減とはなりません。地球環境問題を他人事とせず、身近な問題として一人一人が取り組みばまだ間に合います。

環境行動宣言2021と具体的取組項目		2021平均	増減	2022平均	評価	今後の改善取組のヒント
1 温暖化抑制	再エネ重視の新電力へ切替え	2.1	↑	2.2	×	電気代急騰に備え、価格だけでなく再エネ主体の新電力に切替えよう。切替えは電話一本で可能。
	環境重視の企業・政治家を応援	2.7	↑	3.0	△	環境を企業イメージや選挙活動に使う者が多い。騙されずに本物を見極めるのは市民の責任。
	庭やベランダで緑や野菜栽培	3.3	-	3.3	△	植物は光合成で空気中のCO <sub>2</sub> を吸収、O <sub>2</sub> を排出。
	車使用の削減、車のEV化	2.8	↑	3.0	△	CO <sub>2</sub> 発生約20%は車。徒歩、自転車、公共交通を利用しよう。今後は低価格の軽EVが期待される。
	照明LED化、こまめな節電	3.8	↑	3.9	△	家庭の電力消費約15%は照明、LED消費電力は蛍光灯の50%。LEDもどんどん低価格になっている。
	冷暖房エネルギーの削減	3.2	-	3.2	△	窓からの熱流入は大きい。比較的安価な内窓追加や、断熱シート貼付けが有効。
	太陽光発電・温水器の利用	1.7	↑	1.8	×	太陽光発電普及9%(2020)。太陽熱温水器は効率良く設備費用は太陽光発電の1/4以下。
2 大気・海洋汚染防止	使い捨てプラ包装の削減	3.2	-	3.2	△	日本の使い捨てプラの使用量は米国に次ぎ2位。
	エコバッグ・マイボトル持参	4.2	↑	4.3	○	エコバッグ利用率約80%、マイボトル利用率約60%。(環境省)マイボトル利用をさらに進めよう。
	環境に優しい洗剤を使用	2.9	-	2.9	×	洗剤約10%は石鹸、合成洗剤90%(経産省2018)、環境重視で石鹸に切り替えよう。
	包装プラをスーパーへ返却	2.7	↑	2.8	×	所沢もいづれごみ袋有料化に進む。包装プラをスーパーへの返却を今のうちに習慣化しよう。
	地元産品の購入	3.1	↑	3.2	△	輸入や遠隔地産品を買うと輸送によるCO <sub>2</sub> 発生が莫大。
3 食料廃棄削減	もったいない、食べ残しゼロ	3.9	↑	4.0	○	日本の食品廃棄612万t/年、48Kg/人(農水省2017)。
	過剰生産廃棄される食品不買	3.4	↓	3.3	△	恵方巻、おせち、クリスマスケーキ等の季節品。
	賞味期限が近い商品の積極購入	3.1	-	3.1	△	スーパー等では手前に展示された商品(賞味期限が近い)を買おう。賞味期限と消費期限は異なる。
	計画的食品購入と冷蔵庫内管理	3.6	-	3.6	△	冷蔵庫を日頃から整理しないと食品廃棄が増える。
4 3Rの徹底	ごみ分別による再利用促進	4.1	-	4.1	○	日本はごみの約80%を焼却(環境省)し、多くのCO <sub>2</sub> を排出している。
	生ごみを焼却せず肥料化	2.1	-	2.1	×	燃えにくい生ごみを燃やすごみ回収に出さず、家庭のコンポスト等で菜園や花壇の肥料とする。
	衣類リサイクルの活用	2.5	↑	2.7	×	市のエコステーションに持ち込む、春秋の「もったいない市」に出す、メルカリやハードオフ利用もお勧め。
	節水(トイレ、シャワー)、雨水利用	2.4	↑	2.5	×	最新トイレは10年前より66%節水。便器交換は10-20万円程度。
合計点	60.4	↑	62.2		○4点以上、△3点代、×2点以下	